

グリーン調達

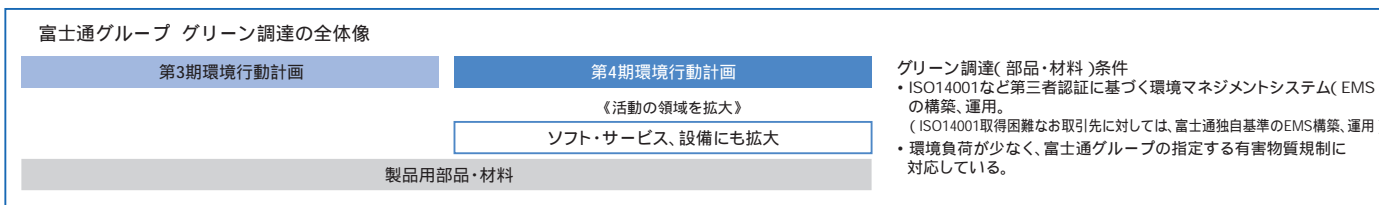
お客さまに、環境効率に優れた製品・サービスを提供するために、お取引先のご協力のもと、グリーン調達を推進していきます。

方針

環境に配慮した部品・材料や製品を優先して購入するグリーン調達は、環境活動の重要なミッションです。富士通グループでは、お取引先のご協力を得て、生産用部材からソフトウェア・サービスまで、グリーン調達の領域を拡大しながら内容を充実していきます。

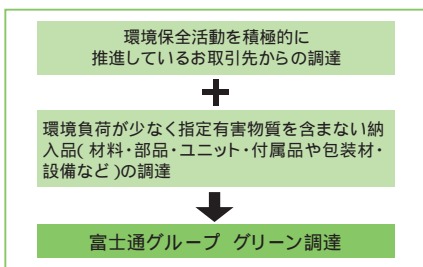
第4期環境行動計画の目標

環境マネジメントシステム(EMS)が構築されたお取引先からの調達比率を2006年度末までに100%とする



しくみ

1. グリーン調達の実現



2. 「富士通グループグリーン調達基準」

企業活動に対する社会的責任の観点から、各国における法制化動向をにらみ、グリーン調達基準の一部見直しを行いました。具体的には、納入品に対する指定有害物質規制などを見直しています。詳細は、以下のホームページ「富士通グループグリーン調達基準」を参照してください。

調達基準の改訂に伴い、お取引先に対して改訂内容の説明を行うとともに、納入品への指定有害物質の含有有無を確認させていただいています。含有している場合には全廃に向けた計画を明確にし、お取引先の協力のもと、有害物質全廃活動を推進していきます。

<http://procurement.fujitsu.com/jp/green.html>

3. 購入部品・材料の環境情報調査

電気・電子機器メーカーが中心となって設立した「グリーン調達調査共通化協議会(JGPPSI)」で標準化した調査方法に準拠し、購入部品や材料に含まれる化学物質の含有量調査を推進しています。お取引先から得られた個々の部品・材料の含有化学物質情報をデータベース化し、グリーン製品の設計・開発段階で環境に配慮したものを

選定できるシステムを運用しています。

Japan Green Procurement Survey Standardization Initiative

4. お取引先支援

お取引先とともにグリーン調達活動を推進するため、以下の支援を行っています。

- ・台湾および香港にEMC(Ecology Management Center)を設立し、主に現地のお取引先に対し有害化学物質管理の状況調査や部品・材料の分析、代替技術についての支援などを実施しています。
- ・ISO14001などの第三者認証取得が困難なお取引先に対し、取得の足がかりとなる富士通独自の環境マネジメントシステム(FJEMS)の構築・運用支援を実施しています(2003年度 説明会8回、参加社数約240社)運用されているお取引先に対しては活動状況を確認させていただき、活動のレベルアップや改善に向けた支援を推進しています。

成果

第3期環境行動計画の目標

- ・製品用部品・材料について、グリーン部材の調達比率を2003年度末までに調達金額の99%以上達成(富士通グループ)
- ・事務用品について、公益法人または団体が認定したグリーン商品の調達比率を2002年度末までに100%達成(富士通)

2003年度グリーン調達実績

製品用部品・材料については、グリーン部材の調達比率を富士通グループとして99.6%達成、目標をクリアしました。事務用品についてはグリーン商品(グリーン購入ネットワーク GPN の文具・事務用品のガイドラインにて定める79品目が対象)の調達比率が97.4%に達しました。2004年度以降も継続して推進します。

お取引先によるRoHS指令対応製品の展示会・セミナー開催

製品開発におけるRoHS指令対応を促進させるため、川崎工場と南多摩工場において、社内関係者向けに展示会およびセミナーを開催しました。お取引先16社から現状の対応状況や課題などを具体的にお話しいただくことにより、設計者の意識啓発や課題の情報共有を進めました。



展示会風景